

# 平成24年度 猪名川町・小学校 学習到達度調査の結果について

猪名川町教育委員会学校教育課

## ■調査目的

- 猪名川町小学校児童の学習状況を調査し、領域、観点、基礎・活用および小問ごとにその結果を示すことにより、学習指導上の問題点および改善点を明らかにする。

## ■調査内容

- 調査の目的に基づき、学習指導要領に定める内容のうち、ペーパーテストで調査を行うことが適当なものについて学力調査を実施した。

## ■調査対象

- 町内の公立小学校第5学年の児童
- 調査対象教科は、国語・算数

## ■調査日

- 平成24年4月17日（火）

## ■調査結果

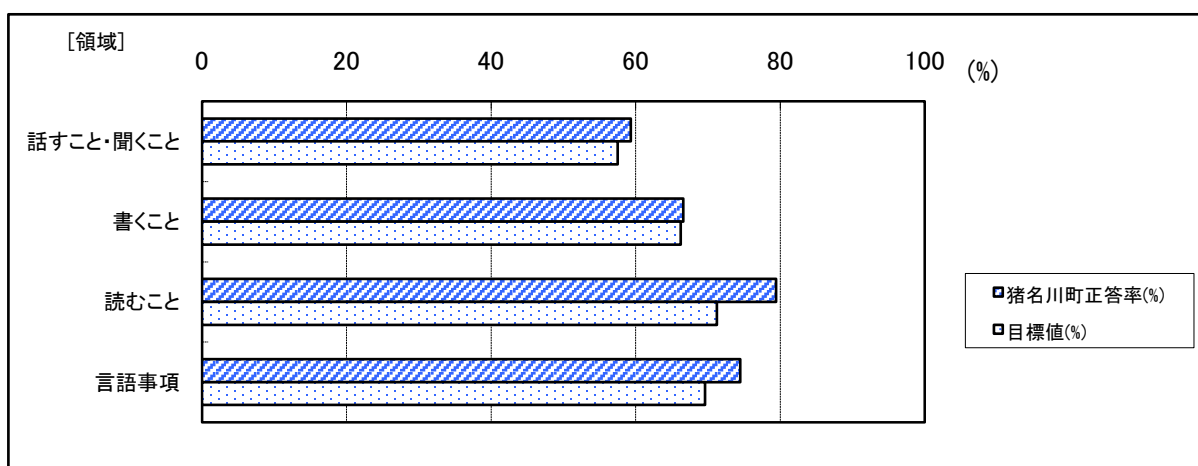
### 【小学校の調査結果】

		猪名川町正答率	目標値	全国正答率
小学校 第5学年	国語	72.7	67.9	68.8
	算数	68.9	64.4	64.8

## ■小学校第5学年【国語】

### (1) 領域別正答率

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	
猪名川町正答率(%)	59.3	66.6	79.4	74.5	
目標値(%)	57.5	66.3	71.3	69.6	
目標値との差	1.8	0.3	8.1	4.9	



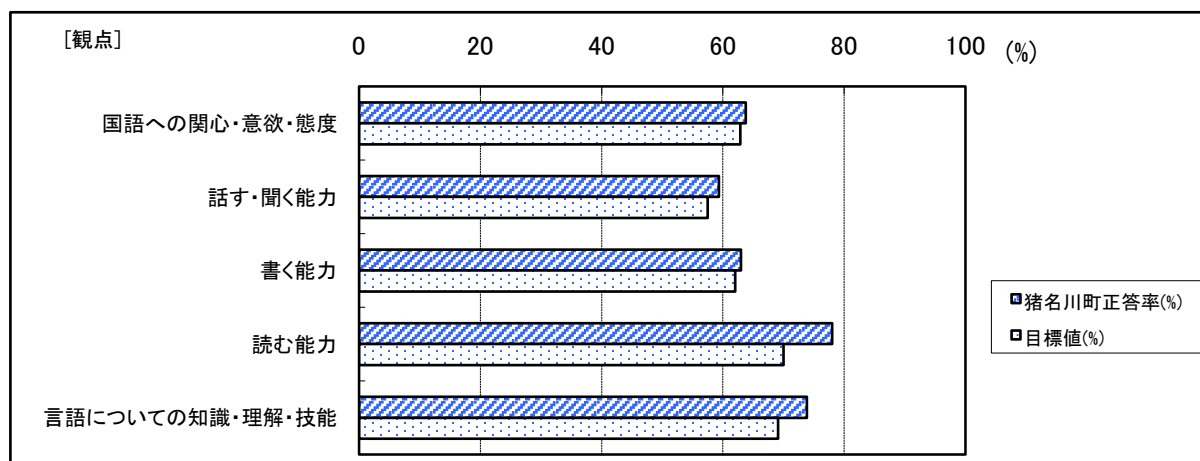
★総ての領域で目標値を上回っており、非常に良好な状況にある。特に読む領域は、目標値を大きく上回り大変良好である。

昨年度は書く領域で、目標値を下回っていたが、今年度は若干ながら目標値を上回り改善されてきた。

- ①聞くこと・話すことの領域では、概ねできているが、話し方の工夫を考えながら聞くことに少し課題がある。結論を話し後で理由を言っているのか、時系列に事象を説明しているのか自分の考えを並べているのか等、学級での発表場面や討論の場で、内容はもちろんだが相手の話し方の工夫を考えるようになりたい。
- ②書くことの領域は大きく改善した。「下級生の手本となる上級生」について、クラスで発表するつもりで、2段落構成、121字～180字で作文する問題であった。内容を指示通りかけているが、なぜそう思うかの条件を書けていない児童が3割以上あった。段落構成や原稿用紙の使い方など、普段の授業でも留意して慣れさせたい。なお、何も書いていない無解答の児童が15%存在したのも課題である。
- ③読む領域は目標値71.3%に対して、79.4%と8.1ポイントも上回り、読む力はついていていると思われる。物語文や説明文、パンフレットや資料を読み取る問題であった。主題を押さえて登場人物の心情を汲み取りながら読むことは非常に良い。ただ、資料・パンフレットの読み取りについて目標値を若干下回った。いくつかの情報をすばやく選択しながら読み取ることに課題があると思われる。
- ④漢字の読み書きは非常に良く出来ており、日常のドリルが徹底していると思われる。言葉の問題ではほかに、指示語や修飾・被修飾、主語・述語の問題であったが、唯一、主語・述語についての問題が目標値を下回っていた。

## (2) 観点別正答率

	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
猪名川町正答率(%)	63.8	59.3	63.0	78.0	73.8
目標値(%)	62.9	57.5	62.0	70.0	69.1
目標値との差	0.9	1.8	1.0	8.0	4.7

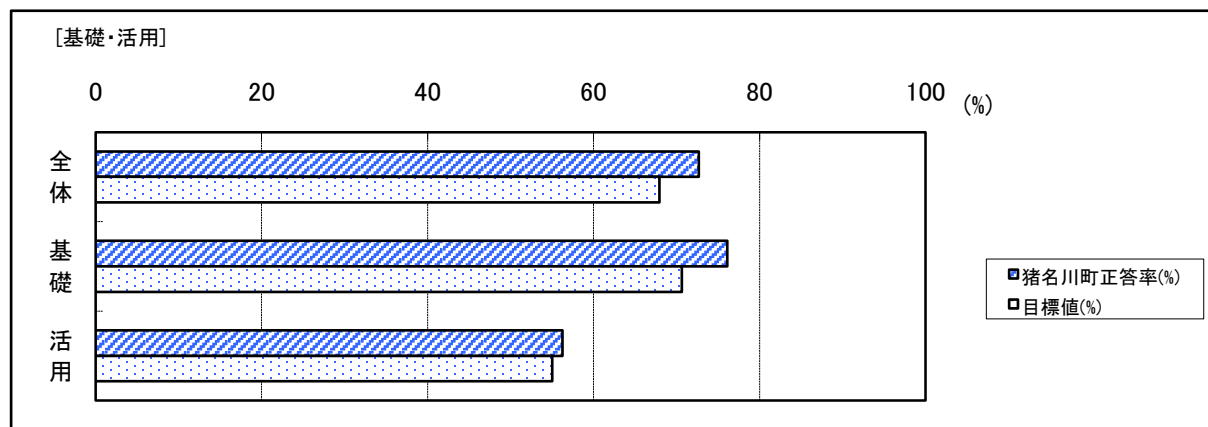


★ 観点別正答率は、すべての観点で目標値を上回っている。特に読む能力は良好である。

- ①国語科への興味関心・意欲・態度をペーパーテストで評価することは難しいが、小問ごとに主たる観点と従たる観点を設けて、聞く話す問題・作文・パンフレットを読み取る問題など日常的な場面を取り上げた問題を、従たる観点として設定した。  
作文問題で無回答が15.0%と少し多いが、あとの問題は積極的な取り組みが見えた。
- ②国語科の場合は、観点の関心・意欲・態度以外ほぼ領域と観点は同じであり、領域正答率で前述したように、観点別にみても良好な状況にある。

### (3) 基礎・活用別正答率

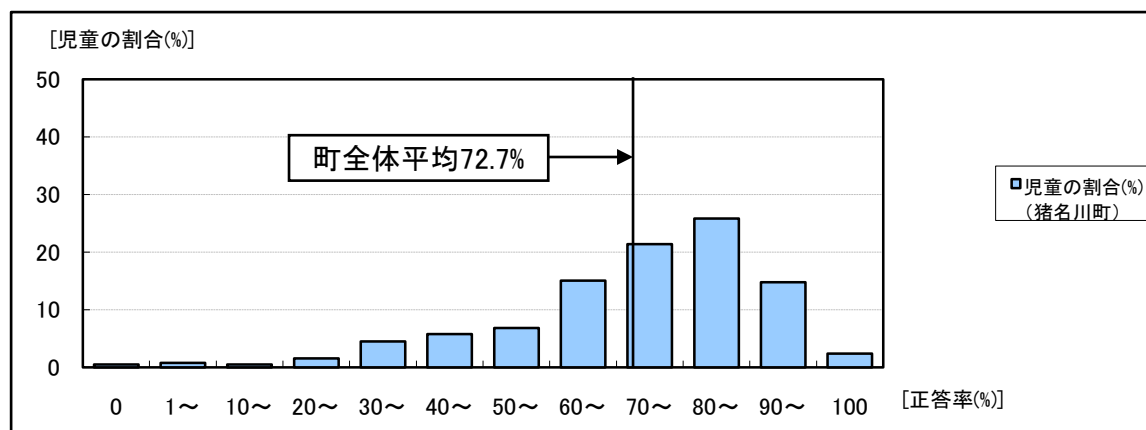
	全体	基礎	活用
猪名川町正答率(%)	72.7	76.1	56.2
目標値(%)	67.9	70.6	55.0
目標値との差	4.8	5.5	1.2



★基礎・活用問題別にみると、基礎問題は76.1%と目標値を5.5ポイント上回り、活用問題でも正答率が56.2%であるが、目標値を1.2ポイント上回っている。

### (4) 正答率度数分布

正答率	0	1~	10~	20~	30~	40~	50~	60~	70~	80~	90~	100
児童の割合(%) (猪名川町)	0.5	0.8	0.5	1.6	4.5	5.8	6.9	15.0	21.4	25.9	14.8	2.4

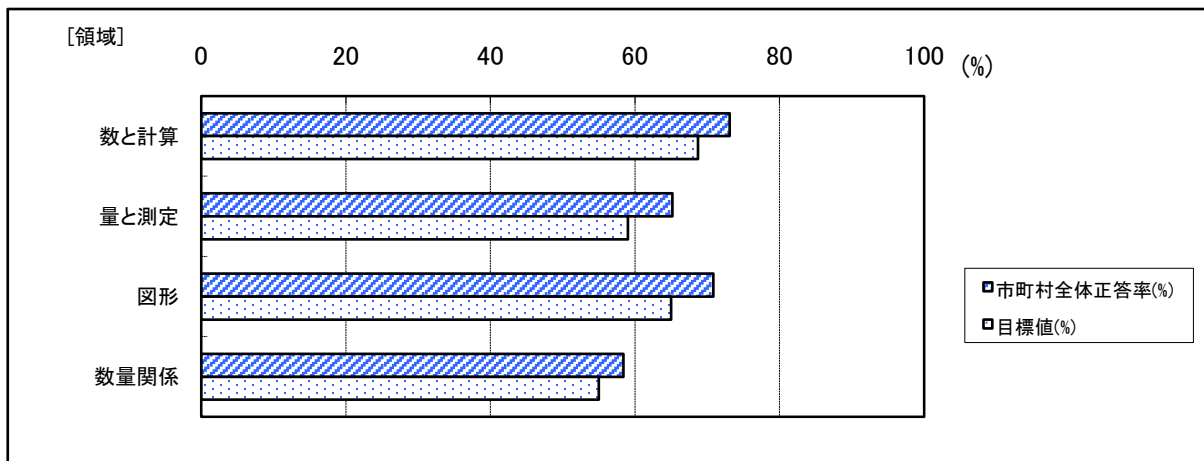


★町全体で正答率80%以上の児童が、なんと43.1%を占め非常に良好である。昨年は35.6%であり大きく改善した。一方で、正答率50%以下の児童が13.7%存在し、昨年の9.6%を超えてしまった。

## ■小学校第5学年【算数】

### (1) 領域別正答率

	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
市町村全体正答率(%)	73.1	65.2	70.8	58.4	
目標値(%)	68.7	59.0	65.0	55.0	
目標値との差	4.4	6.2	5.8	3.4	



★総ての領域で目標値を大幅に上回っており、非常に良好な状況にある。ただし、数量関係は、昨年度14.9ポイントと大幅に上回っていたが、今年度は3.4ポイント上回るに留まっている。

①数と計算領域は73.1%の正答率で、目標値を4.4ポイント上回っている。整数、小数、分数の基礎計算力は既習事項の習得は全て良好である。ただし大きな数「億」「兆」の理解に課題が見える。23問中2問が目標値を下回った。基礎的な計算の練習とケアレスミスをなくすよう解いた後に見直すことを徹底させたい。

数直線上の分数の読み取りが半数近くが不正解で気掛かりである。整数÷整数で小数第一位を求める計算はできるが「2リットルの牛乳を5人で分けると何リットルになるか」の文章題になると目標値を下回る。文章から立式できるようになりたい。

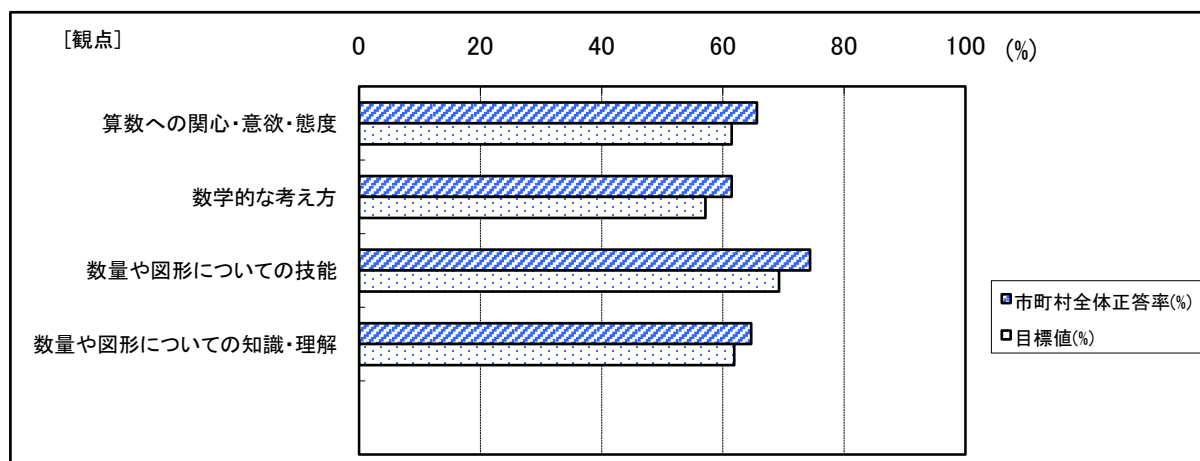
②量と測定領域では目標値を6.2ポイント上回っており良好であるが、身近にあるものの面積を推測する問題では目標値を下回った。昨年も角の大きさを見当つける問題が課題であった。算数的な良さを生かして、身近なものの面積やおよその数の見当をつけることは、算数への関心・意欲・態度にもつながることで大切にしたい。

③図形領域も正答率70.8%で目標値を5.8ポイント上回り良好である。四角形の対角線や直方体の展開図など理解が難しい箇所も正答率が高い。

④数量関係の領域も目標値を上回って良好である。ただし、折れ線グラフの読み取りが昨年は70.4%の正答であったものが今年度は58.0%と▼12.4ポイントで不可解である。

## (2) 観点別正答率

	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	
市町村全体正答率(%)	65.6	61.4	74.4	64.6	
目標値(%)	61.4	57.1	69.2	61.8	
目標値との差	4.2	4.3	5.2	2.8	

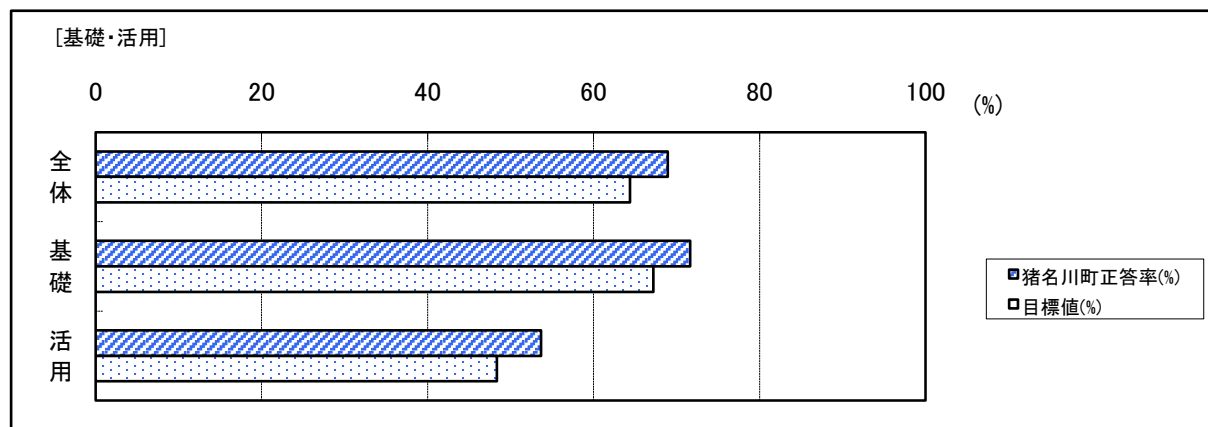


★観点別正答率から見てもすべて目標値を上回り良好ではあるが、個々には少し課題も見える。算数への関心・意欲・態度も国語同様ペーパーテストで評価することは難しいが、従たる観点として、分数・整数・小数などの大きさ比べや身近なものの面積、遊園地・動物園などの場面を用いた活用問題など評価した。町内の児童の関心・意欲は高いと思われる。

①数量や図形についての技能は正答率74.4%と非常に高い。ただ数学的な考え方については計算は出来ても文章で答える問題にすると正答率が低くなっている。例えば、余りのある割り算の間違いをどこが間違っているか、文章で答える問題は正答率が低くなっている。二次元表を使った問題も同様である。記述して解答する問題での無記入が2割と多い。

### (3) 基礎・活用別正答率

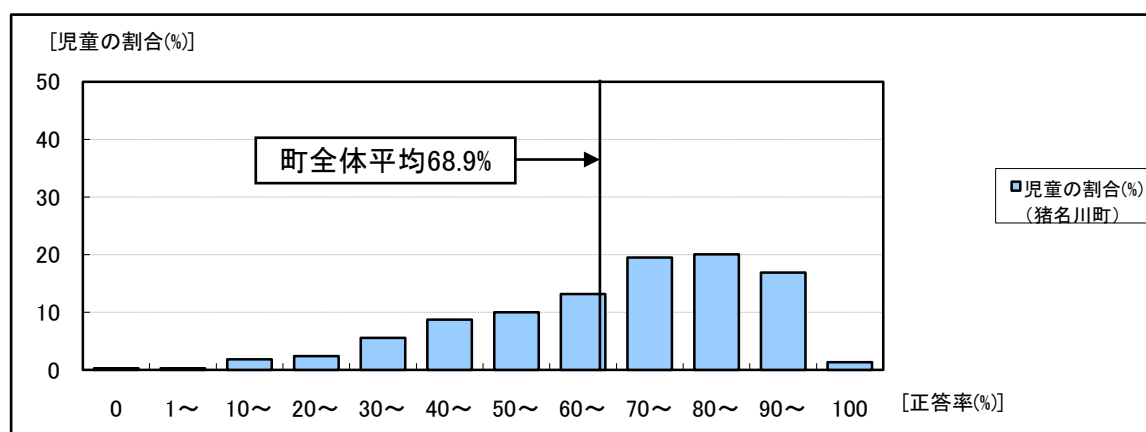
	全体	基礎	活用
猪名川町正答率(%)	68.9	71.6	53.6
目標値(%)	64.4	67.2	48.3
目標値との差	4.5	4.4	5.3



★基礎・活用問題も目標値を超えて大変良好な状況にある。

### (4) 正答率度数分布

正答率	0	1~	10~	20~	30~	40~	50~	60~	70~	80~	90~	100
児童の割合(%) (猪名川町)	0.3	0.3	1.8	2.4	5.5	8.7	10.0	13.2	19.5	20.1	16.9	1.3



★正答率80%以上の児童が38.3%、昨年は58.3%で20ポイント下回った。また、正答率50%以下の児童は28.7%で昨年より20ポイント上回った。問題の難度が増したことが起因していると思われる。